

事業所名	あゆみん (児童発達支援・放課後等デイサービス)		支援プログラム案 (参考様式)	作成日	2025 年	1 月	31 日
法人 (事業所) 理念	あゆみんの理念 『たくさんあゆんで、たくさんあしあとをのこそう』 あゆみんでは子供たちと共に考え、共に歩むことを大切にしています。 子どもたち自身が、自分のことを”好き”になれるよう、自信をもって成長していけるよう「生きる力」をはぐくんでいきます。						
支援方針	「ともに歩み、ともに足跡を残そう」というコンセプトに基づき、障害のある児童に対して、日常生活における基本的動作・生活や社会参加に必要な知識と技能の習得、集団生活への適応訓練 (支援) を行います。子どもたちの発信を、言語だけにとらわれず、思いを理解し共感する中で、伝わることの喜び・伝えたい気持ちを引き出していきます。色々な経験をする中で、できることが増え、自尊心が高まり、自信をつけていくことができることよう支援します。						
営業時間	平日10 土曜 9 時	0 分から	平日18 土曜17 時	0 分まで	送迎実施の有無	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	自信をもって日々の暮らしを送ることができるよう、健康で安全な生活を自ら作り出すことができるよう、小さなサインから心身の変化に気づくことができるよう見守ります。食事、排泄、着脱などの基本的な生活習慣をスモールステップで獲得できるようサポートしていきます。					
	運動・感覚	姿勢・移動・体づくり・体感運動に関する活動により、運動や動作の基本的な技能の向上を目指します。身近な道具を使った課題を通して、手指の巧緻性向上を目指します。一人一人の好きな感覚、苦手な感覚に配慮しながら、遊びや活動を行うことで、様々な感覚・感触に触れ、五感を活用できるよう、サポートしていきます。					
	認知・行動	身体部位・色・比較・位置・分類・感情概念・時間概念・数などに関する課題に取り組みます。一人一人の認知特性や理解を十分にアセスメントし、どのような訓練や支援、ツールがあれば理解しやすいか・自己表現ができるか・暮らしやすくなるかなどを検討し、集団での活動にもつなげていきます。					
	言語 コミュニケーション	日々の活動の中で一日の流れを視覚的に提示していく中で、活動の見通しを持って行動できるように支援していきます。コミュニケーションとして絵カードや指差し、身振りやジェスチャー、画像などを活用することにより、自ら思いを発信することができるよう、特性や発達段階に沿った支援をしていきます。集団遊びの中で、言葉や表情などの伝え方・受け止め方を、リアルタイムに指導し、成功体験が増えるよう支援します。					
	人間関係 社会性	就学・進級・進学等の環境変化や、出会い・お別れなどを含むライフイベントに依らず、変わらず安心できる場所を提供することに重点を置いています。職員と一緒に遊ぶ、傾聴するなど、共感の場面を通して関係性を育んでいきます。子どもたちの好きなことを見つけ、一人一人の発達段階に沿った遊び・関係性を構築できるツールを提供することで、社会性や集団参加の基礎を育んでいきます。					
家族支援	送迎時の対話や連絡帳を通して、保護者とのコミュニケーションを図っています。また、年に2回の面談以外にも、日々の不安や困りごとへの相談、就学にむけた相談なども随時行っています。希望される方には活動の見学も行っています。保護者の就労・レスパイトも視野に含み、親子ともに安心できる時間や距離を持つことができるよう配慮しています。	移行支援	保育所や幼稚園と、受け入れの際に行った会議等を通じて、児童の心身の状況や生活環境などの情報共有を行います。就学においてスムーズに次の段階に移行できるよう、情報提供・助言等を行います。				
地域支援・地域連携	相談支援事業所や他の福祉サービス・地域行政・医療機関との情報共有、保育園や幼稚園への訪問などを通して連携に努めています。	職員の質の向上	①管理者・児童発達支援管理責任者向け研修 ②虐待防止 (身体拘束) に関する研修 ③感染症に関する研修 ④災害に関する研修 ⑤法人が定めたキャリアパスに沿った研修受講の機会及び、専門性を深めるための研修の機会を提供しています。 ⑥定期的な会議にて情報共有・ディスカッションを行います。				
主な行事等	夏休み期間はプールを行います。水に慣れ、水の感触を楽しみながら、健康な体を作ります。そのほか、制作や調理活動を含め、時節に合ったものをその時々で取り入れるように工夫しています。						